



第3回ワークショップ 「新しい市民センターに必要な設備・機能を考えよう」 新しい市民センターに必要な 機能や設備はどんなもの？

令和3年12月12日（日）、第3回「狛江市民センター改修を考える市民ワークショップ」を開催し、総勢17名の方にご参加いただきました。

現在、狛江市では市民センターの改修、新図書館の整備について検討を進めており、本ワークショップは、改修後の市民センターに導入される機能やスペース等についてご意見をいただくことを目的としています。

今回のテーマは、「新しい市民センターに必要な設備・機能を考えよう」。ワークショップのはじめには、皆さんに新しい市民センターのコンセプトを説明し、市民センターに関する思いを参加者一人ひとりに語っていただきました。

グループワークでは、それぞれの部屋やスペースに必要な設備や機能について話し合っていました。

グループワークの後には、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）



サンタチーム



- ・社会教育士を配置、市民の声を聞く力のあるスタッフ
- ・ユニバーサルデザインに配慮 ・他の公共施設との連携
- ・Wi-Fiの設置 ・きれいなトイレ ・明るいホール
- ・災害時の機能に関して考えてほしい
- ・公民館と市民活動支援センターの職員・事務所などの役割分担はどうするのか

- ・貸出時間を4区分とするのはどうか ・女性トイレの個数を増やす
- ・工作機械など、個人所有が難しいような設備を備えてほしい
- ・飲食ができるコミュニティスペース ・子ども食堂の使い勝手向上
- ・市民活動支援センターの移転より公民館のスペース確保を重視
- ・Wi-Fiの設備 ・市民が参加しやすい事業の充実
- ・建物のZEB(ゼロエネルギービル)※化、環境配慮

※ゼロエネルギービル…建物で消費する一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

トナカイチーム



- ・環境に配慮した建物 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン
- ・小さい会議室ではなく広めの会議室を増設
- ・会議室はパーティションで仕切って大きさを調整⇔仕切ると使いにくい
- ・親子や現役世代が来やすい市民センターとするための設備（保育室、授乳室、児童書、学習室、討論できる部屋など）
- ・青少年の居場所 ・コミュニティスペースの充実（飲食や子どもが遊べる場所、展示 / 発表コーナー）
- ・調理室は不要⇔充実させて子どもも飲食できるスペースを併設

ツリーチーム



次回予告！

第4回のワークショップは新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年1月23日（日）から3月27日（日）に延期となりました。今後の感染状況によっては、予定が変更となる場合があります。テーマは「部屋の配置・部屋の面積を考えよう」です。今回までの議論のなかで話し合われた、新しい市民センターに必要な機能や設備をより具体的に検討するため、必要な部屋やスペースに関して、広さや配置について話し合ってください。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：03-3430-1111

〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5

狛江市政策室・公民館・図書館

市HP



第3回ワークショップ 「図書館・図書室それぞれの役割を考えよう！」 図書館、図書室、図書コーナーの 役割は？それぞれのサービスは？



令和3年12月12日(日)、第3回「狛江市の新図書館を考える市民ワークショップ」を開催し、総勢13名の方にご参加いただきました。
現在、狛江市では市全体での図書館のあり方や新図書館の整備、市民センターの改修について検討を進めており、本ワークショップは、新しく整備される図書館に導入される機能やスペース等についてご意見をいただくことを目的としています。
今回のテーマは「図書館・図書室それぞれの役割を考えよう」。市として考える図書館が今後目指す方向性(案)やワークショップの流れについて説明の後、グループワーク開始！
グループワークでは、3チームに分かれて話し合っていたいただきました。新設される図書館、市民センターに設置される図書コーナー、地域センターに設置されている図書室に関して、それぞれの役割を議論いただきました。
グループワークの後、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）



おもちチーム



- ・図書コーナーには本を置かないで、自習 / コワーキングスペース、予約本の受け取り場所にする。絵本は設置する
- ・新図書館はレファレンスや課題解決支援機能を充実すべき
- ・学習スペースは市民センターに設置してもよい
- ・電子書籍は大人のもので、限界もあるのではないかと
- ・新図書館と図書コーナーの関係性は、一体的に新中央図書館とすることも、それぞれ独立させることも考えられる

- ・図書コーナーは多くの本を置くことよりコントロールや案内機能に特化させたい
- ・個人の貴重な蔵書も公開してはどうか
- ・新図書館は従来型の図書館機能を充実しては（学生用の自習室、イベント機能、コワーキングスペース、ウェブ会議用のスペースなど）
- ・地域に点在する図書室は、各地域のメリットをそのまま活かす
- ・電子書籍の充実、電子雑誌閲覧サービスを実現してほしい

とらチーム



- ・新図書館と図書コーナーのサービスは異なるほうがよい
- ・新図書館にはカフェコーナーを設置する
- ・図書コーナーは受取と予約機能に絞ってしまう
⇨貸出と返却のみの施設はもういらない
- ・図書コーナーでは読み聞かせ活動もしてもらいたい
- ・新図書館 / 図書コーナーにご意見箱を設置して利用者の意見を随時募ってはどうか

おせちチーム



次回予告！

令和4年2月27日(日)に予定していた第4回ワークショップは延期となりました。次回の開催日は未定です。開催日が決まり次第、市のホームページ等でお知らせします。「改修後の市民センター図書コーナーの使い方と必要な空間等」をテーマに、市民センターワークショップとの合同開催を予定しています。市民センター内に設置される図書コーナーに焦点を絞って、中央公民館や市民活動支援センターを併設することもふまえた使い方や、必要な空間などを話し合ってください。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。

お問い合わせ先：03-3430-1111

〒201-8585 東京都狛江市和泉本町1-1-5

狛江市政策室・公民館・図書館

市HP

